

研究・調査報告書

報告書番号	担当
309	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
題名（原題／訳）	
Alcohol consumption and metabolic syndrome in the elderly: results from the Italian longitudinal study on aging. 高齢者における飲酒量とメタボリックシンドロームの関連について	
執筆者	
Buja A, Scafato E, Sergi G, Maggi S, Suhad MA, Rausa G, Coin A, Baldi I, Manzato E, Galluzzo L, Enzi G, Perissinotto E; ILSA Working Group.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
ur J Clin Nutr. 2010 Mar;64(3):297-307. Epub 2009 Nov 25.	
キーワード	
飲酒、高齢者、メタボリックシンドローム	
要 旨	
<p>目的： 高齢者において飲酒量とメタボリックシンドロームの有病率および発症率の関連を明らかにする。</p> <p>方法： 対象者は 65-84 歳のイタリア人一般地域住民を対象とした他施設研究（The Italian Longitudinal Study on Aging (ILSA)）の参加者。平均追跡間は 3.5 年（中央値）。男性 1321 人については飲酒量別のメタボリックシンドローム有病率と発症率を検討した。対象者は飲酒量別に非飲酒者、一日あたり 12g 以下、13-24g 以下、25-47g 以下、48g 以上に分類した。女性 1122 人については飲酒量別に非飲酒者、一日あたり 12g 以下、13-24g 以下、25g 以上に分類した。メタボリックシンドロームは ATPⅢの診断基準により診断した。</p> <p>結果： 飲酒量とメタボリックシンドロームの有病率およびメタボリックシンドロームの発症リスクは男女ともに有意な関連を認めなかった。メタボリックシンドロームの発症についての検討では、男性ではメタボリックシンドロームの診断基準の 5 項目のうち 3 項目（収縮期血圧、血糖値、腹囲）は飲酒量と統計的に有意な関連を認めた。一方女性ではそのような関連は認めなかった。</p> <p>結論： 高齢者においても飲酒は代謝状況に影響を与えられ、特に男性では女性と比較してよりその影響を強く受けると考えられる。</p>	